

Title	常任理事あいさつ
Sub Title	
Author	青山, 藤詞郎(Aoyama, Tōjirō)
Publisher	慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
Publication year	2020
Jtitle	慶應義塾大学DMC紀要 (DMC review Keio University). Vol.7, No.1 (2020. 3) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集 DMC研究センターシンポジウム第9回「大学教育のミライ： オープンエデュケーションのその先へ」これからのMOOCの話しよう 開催日時：2019年11月20日(水) 14:00～19:00 開催場所：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎2F大会議室
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000007-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

常任理事あいさつ

青山 藤詞郎

(慶應義塾常任理事)

皆さん、こんにちは。慶應義塾で、教育と研究を担当しております。そしてこの DMC の担当もしております、常任理事の青山でございます。慶應義塾大学は、先ほど私も短時間、現状を見学させていただきましたが、2016 年にグローバルソーシャルラーニングプラットフォームである FutureLearn のパートナーとなりまして、コースの開発と開講を行ってきております。その結果、現在これまでに 190 カ国、そして延べ約 6 万人の登録を経て、大きな成果を上げております。またその Massive Open Online Course の、MOOC プラットフォームにおいて、学習の場を提供しております。

このシンポジウムは、回を重ねておりますが、DMC が、FutureLearn の開講について、マネージしていることや、その開講を DMC が中心になって行っているということを、これまではあまりお話ししておりませんでした。今回はそこに焦点を当てて、シンポジウムを開催することになりました。

人生 100 年という時代になりまして、大学で育って社会に出ていき、その方が何か社会で仕事をする、企業に入る、あるいは研究者となるなどの活動の後に、定年を迎え、まだ 20 年、30 年、何十年も第二の人生が



あります。そこで何をするのかというときに、いわゆる大学がまたそこで貢献できるのではないかと思います。リカレント教育という言い方もしていますが、企業に在籍中、いろいろなことを大学に戻ってきて勉強する、これもリカレント教育ですし、一回、社会貢献活動が終わった後で、次に、また大学に戻ってきて、一緒に学び、また次の事象で活躍するのもそうです。これまでの大学は、いわゆる、20 代で卒業した後は、「頑張っただけ」とそれで終わりでしたが、これからは大学にそういう場を作っていくことによって、貢献する場ができてくるのではないかと思います。

例えばこの FutureLearn は、そういう世代の方が、これを通して、様々な学びができたり、様々なことを知ることができたりする場を提供していると考えております。本日もご出席の皆さま、ぜひ活発なディスカッションをお願いできればと思います。それではどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。